



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

安全で住みよくなすべく

Q 新型コロナウイルスワクチンを安全・安心して接種してもらうための今後の課題と環境づくりは？

A 模擬訓練での課題を解決するために工夫が必要。ワクチン接種は強制的ではないが、多くの市民に接種していただき、集団免疫を獲得することが重要なので、正確な情報発信を行っていききたい。

Q 新型コロナウイルスの経済対策について、感染が少ないエリア枠内での人の移動は考えられないか？

A ある範囲では経済が回るようにシフトしていくべきだが、見極めるにはしばらく時間が必要だ。

持続可能なまちづくり

Q 旧堀部邸改築事業の進捗と今後のスケジュールについて、コロナ対策の第二次補正の大切な財源を利用して、費用対効果が得られる事業にしたいが？

A 現在、設計の一部手直しを行っている。費用対効果を考え、商店街の活性化につながることを念頭に取組みたい。

Q 鉄道跡地の利用について、南島原市がサイクリングロードの整備を予定しているが、本市の方向性は？

A 島鉄跡地は素晴らしいロケーションなので、南島原市と相談しながら観光のコンテンツに育ててみたい。

以前の質問

Q 消防団活動を活性化させる協議会設置の進捗について。

A 団員確保、運転免許制度の面、消防車の更新問題、管轄区域の見直しなど多くの課題に対し、有識者等の意見を聞く場を設けて、問題解決に取り組んでいきたい。

【その他の質問項目】

◇雪による道路凍結への対応について

◇サテライトオフィス事業での民間オフィス、空き家の活用について
◇施設の利用料金の整合性について
◇行政のデジタル化について
◇マイナンバーカードについて



平成会
はまさき きよし
濱崎 清志 議員

マイナンバー制度

Q マイナンバーカードで、行政手続きの際の添付資料の削減、健康保険証や運転免許証との一体化など利便性が図られる。市議会議員も全員取得したが、市職員と市民の状況はどうか。

A 市職員は95%、市民は令和3年2月末現在で21・47%である。

Q いつまでに目標の100%にする予定か。真剣に取り組まないといけないと思うがどうか。

A 国の目標は、令和5年3月末である。自主防災会として団体での登録ができないか、調査をしている。

産業振興

Q スペシャルクオリティ（SQ）商品の認定数は。ふるさと納税の返礼品としての取扱はあるのか。

A 50の事業所で108点の商品を認定している。そのうち、70点を返

礼品として活用している。

Q 海外との取引はあるのか。

A SQ商品認定後の海外との取引事業社は5社で、年間の取引額は4700万円程度である。

Q (株)島原観光ビューローは債務超過に陥らないように。また、役員入れ替えの検討を。

A 資本金を赤字に投入したのではなく、施設改修など投資に充ててきた。役員構成も前向きなやり方があると思うので、経営の観点から行政もフォローすることを考えなければならぬことあると思う。

教育行政

Q コロナ禍で就職ができず、奨学金の返済ができない場合の猶予期間は設けているのか。

A 貸付型は、本人の申出により最高5年まで、ふるさとにもどってこね奨学金は、最高8年まで猶予できる旨を、条例、附則で定めている。

【その他の質問項目】

◇しまばら創生・企業派遣研修事業について